

第3回

FLECフォーラム

～社会的養護の健全な発展のために～



2021年1月9日(土)～11日(月・祝)

家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください！

プレセッション

(1月9日 18:10～)

WEB開催

プレは
無料です。

フォーラム

(1月10日・11日)

早稲田大学大隈講堂
& WEB開催

FLECフォーラムとは

すべての子どもたちに家庭での生活を (Family Life for Every Child: FLEC) という思いをこめて、家庭養護とその関連分野にさまざまな立場で携わる関係者が集い、相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について意見を交わすことを目的に、FLECフォーラムを開催します。家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください。

今回(第3回)の主なトピック

<シンポジウム>

- ・施設の多機能化と家庭養護支援の仕組みづくりに向けて
- ・社会的養護における福祉と司法との連携・協働に関する諸課題

<パネルディスカッション>

- ・フォスタリング機関 ～様々な取り組みと実際運営上の諸課題
- ・施設や児家センによる多機能化・地域支援の実際と展望
- ・就労支援・退所者支援の課題と展望
- ・特別養子縁組親子、里親子と語ろう

<プレセッション>

- ・これからの社会的養育に必要な評価・研究
～実践・研究・施策の協働はどう実現するか～

全国家庭養護推進ネットワークとは

家庭養護とその関連分野の関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームとして設立いたします。

共同代表



相澤 仁

大分大学
福祉健康科学部
教授



潮谷 義子

社会福祉法人慈愛園
理事長、
前熊本県知事



柏女 霊峰

淑徳大学
総合福祉学部
教授

平成28年の児童福祉法改正において、我が国の社会的養護においても、里親委託をはじめとする「家庭養護」が原則とされ、さらに子どもたちのパーマネンシー保障という観点から特別養子縁組を推進する方向も明確に打ち出されました。

家庭養護を現場で実際に推進するためには、里親、ファミリーホーム、施設、児童相談所、民間養子縁組あっせん機関、フォスタリング機関、学会、行政、メディアなどの様々な関係者相互のネットワークを構築・強化するとともに、それぞれの現場で関係者が共通認識の下、密接に協力して具体的な対策に取り組むことが必要となります。また、今後は、障害児施策や子育て支援施策、母子保健施策、学校教育等の関連分野との連携と協働も、ますます重要性を増してきます。

このような認識のもとで開催してきたFLECフォーラムも、今回で第3回になります。これまでのフォーラムでは、厚労省検討会の「新たな社会的養育ビジョン」とそれを踏まえた「都道府県社会的養育推進計画策定要領」を受け、

- ・各都道府県が家庭養護を推進するための具体的方策を明確に盛り込んだ計画を策定すべきこと
- ・特にフォスタリング機関の設置を含む里親家庭支援のための方策の重要性
- ・特別養子縁組を推進するための官民連携

等について議論し、様々な意見をいただきつつ、大きな方向感を共有してきました。

今回は、各都道府県の計画を踏まえ、家庭養護を推進する観点から、民間フォスタリング機関の有力な候補となり得る「乳児院」「児童養護施設」の今後のあり方をメインテーマとして取り上げ、フォスタリング機能を中心とした多機能化、高機能化に向けた各施設のあり方について掘り下げた議論を行いたいと思います。

その際、そうした方向を強力に促進できるような措置費の支出のあり方や事業体系のあり方についても、議論を深めたいと思います。

またクロージングのシンポジウムでは、他分野との連携という大きなテーマの一環として、社会的養護における福祉と司法との連携・協働に関する諸課題についても議論を行いたいと思います。このネットワークとフォーラムが、わが国のすべての子どもたちの未来を切り拓く一助となることを切に願っております。